

自然から学ぶ

PROGRAM

防災教育

中学から高校まで6年間

自然と向き合うことで「命は自分で守る」という意識を深める

自然を100%コントロールすることはできません。遠泳やヨット帆走実習では、自然の中において判断することの大切さを、自分自身の身体を通じて学びます。



チームワークを高め、実践的に身を守る「TSキャンプ」

野外活動を通じて問題解決力を養うことを目的として実施されます。同キャンプでは、「協働」を学ぶアクティビティとあわせて防災学習プログラムに取り組みます。逗子の町を歩くことで防災上の課題を考え、避難者生活も体験します。そして、参加者全員がジュニア防災検定に挑戦します。当日は、防災食カレーを食べ、段ボールとアルミ製の簡易寝袋で体育館に宿泊。災害から身を守る方法を実践的に学びます。



- 緊急地震速報「クルグラット」
- ゴンズイポータルによる安否確認・家族への連絡

いざという時にも対応できる万全な対策

2011年3月11日の東日本大震災の折には、避難されてきた近隣の方々と一緒に一夜を明かしました。生徒安否の情報発信を行い、翌日交通機関が復旧し、安全が確認されてから生徒を帰宅させました。

PROGRAM

防災避難訓練

中学から高校まで6年間

精度の高い訓練と意識づくりにより、全校生徒と教職員約1800名が26分で安全エリアに

▶ 逗子開成の校舎は、逗子市より「津波避難ビル」に指定されています。現在想定されている最大級の地震・津波に対し、校舎3階・屋上に避難することが最も安全です。

▶ より安全な高度な場所への避難としては、披露山公園（標高92.5m）への避難を想定しています。訓練の際にも、「防災頭巾ライフジャケット」を着用し行われます。

▶ 避難訓練は、教職員誘導による全校生徒の校舎3階以上への避難が7分30秒以内、披露山公園への全校津波避難訓練では、全校生徒・教職員の安全高度への避難が26分以内に可能であることを確認しています。



逗子開成 ▶▶▶▶ 披露山 経過紹介

緊急地震速報（試験放送）

訓練大津波警報発令
披露山先発隊教員選出・出発、
避難誘導教員選出・避難誘導指示開始、
生徒披露山頂上へ避難

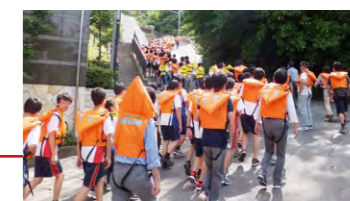
誘導指示完了

校内（敷地内）から
すべての生徒が居なくなる

すべての生徒が安全高度位置到着

すべての生徒が披露山公園到着

生徒の人員点呼完了
逗子市消防・教頭より講評



地震・津波対策

いざという時にも対応できる万全な対策

2011年3月11日の東日本大震災の折には、避難されてきた近隣の方々と一緒に一夜を明かしました。生徒安否の情報発信を行い、翌日交通機関が復旧し、安全が確認されてから生徒を帰宅させました。

- 緊急地震速報「クルグラット」
- ゴンズイポータルによる安否確認・家族への連絡



全生徒3日分の食料を保管

屋上には学校の防災倉庫に加え、逗子市の防災倉庫も設置されています。2,000名が、校内で3日間過ごすことができるように、水・食料・毛布等を備蓄しています。また、各教室の棚には、各クラス生徒分の特注品の防災頭巾ライフジャケットが置かれています。